【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公開番号】特開2009-207043(P2009-207043A)
【公開日】平成21年9月10日(2009.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2009-036
【出願番号】特願2008-49314(P2008-49314)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｇ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月18日(2011.2.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、
動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段と、
所定の動画再生モードを設定する設定手段と、
前記設定手段により所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御手段と
を具備することを特徴とする動画再生装置。
【請求項２】
前記音声の波形は、動画ファイルの再生時間と前記音声データに基づく音声の音量との対応関係を示す波形であることを特徴とする請求項１記載の動画再生装置。
【請求項３】
動画ファイルに含まれる距離情報に基づき、被写体像が記録された時間と当該被写体が発した音を記録した時間のずれであるタイムラグを算出する算出手段を備え、
前記表示制御手段は、前記表示手段に表示されている音声の波形を、前記算手段により算出されたタイムラグに対応する時間分だけ、前記再生時間を示す時間軸上において移動させて表示させる
ことを特徴とする請求項２記載の動画再生装置。
【請求項４】
前記音声の波形は、前記前記音声データに基づく音声信号の周波数と信号強度との対応関係を示す波形であることを特徴とする請求項１記載の動画再生装置。
【請求項５】
前記音声の波形に対して、特定の前記周波数と特定の前記信号強度との関係により定まる音声情報である音域を指定する指定手段を備え、
前記表示制御手段は、前記指定手段により指定された音域を含む音声データに対応付けられた画像データのみを、前記表示手段に表示させる
ことを特徴とする請求項４記載の動画再生装置。
【請求項６】

動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段とを備える携帯機器の動画再生方法であって、
所定の動画再生モードを設定する設定ステップと、
前記設定ステップにて所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御ステップと
を含むことを特徴とする動画再生方法。
【請求項７】
動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段とを備える携帯機器のコンピュータを、
所定の動画再生モードを設定する設定手段、
前記設定手段により所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御手段、
として機能させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的達成のため、請求項１記載の発明による動画再生装置は、動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段と、所定の動画再生モードを設定する設定手段と、前記設定手段により所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御手段とを具備することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、請求項２記載の発明は、請求項１記載の動画再生装置において、前記音声の波形は、動画ファイルの再生時間と前記音声データに基づく音声の音量との対応関係を示す波形であることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、請求項３記載の発明は、請求項２記載の動画再生装置において、動画ファイルに含まれる距離情報に基づき、被写体像が記録された時間と当該被写体が発した音を記録した時間のずれであるタイムラグを算出する算出手段を備え、前記表示制御手段は、前記表示手段に表示されている音声の波形を、前記算手段により算出されたタイムラグに対応する時間分だけ、前記再生時間を示す時間軸上において移動させて表示させることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、請求項４記載の発明は、請求項１記載の動画再生装置において、前記音声の波形は、前記前記音声データに基づく音声信号の周波数と信号強度との対応関係を示す波形であることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、請求項５記載の発明は、請求項４記載の動画再生装置において、前記音声の波形に対して、特定の前記周波数と特定の前記信号強度との関係により定まる音声情報である音域を指定する指定手段を備え、前記表示制御手段は、前記指定手段により指定された音域を含む音声データに対応付けられた画像データのみを、前記表示手段に表示させることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記目的達成のため、請求項６記載の発明による動画再生方法は、動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段とを備える携帯機器の動画再生方法であって、所定の動画再生モードを設定する設定ステップと、前記設定ステップにて所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御ステップとを含むことを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
上記目的達成のため、請求項７記載の発明によるプログラムは、動画ファイルに含まれる画像データに基づく画像を表示する表示手段と、動画ファイルに含まれる音声データに基づく音声を出力する音声出力手段とを備える携帯機器のコンピュータを、所定の動画再生モードを設定する設定手段、前記設定手段により所定の動画再生モードが設定されているときに、前記音声データに基づく音声の波形を前記表示手段に表示させる表示制御手段、として機能させることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明によれば、音声出力を停止させると共に、画像データが表示されているときに、当該表示されている画像データに対応付けられて記憶されている音声データに基づく音声

の波形を表示するので、周囲の環境によらず、動画に付帯する音声をユーザに確認させることができる。